

平成17年（2005年）8月1日発行

学園創立98周年記念式典

専門職大学院も開設し、
100周年に向け着実に前進



永年勤続表彰で理事長より賞状が手渡される

6月29日（水）14時から、東京工業高等学校アリーナにおいて学園創立98周年記念式典が開催された。式典には本学園教職員ならびに来賓等およそ300人が列席した。冒頭大川陽康理事長より、関係各位への謝辞とともに次のような挨拶があった。

開学以来、一貫して工業教育を追求
本年度からは社会人教育をスタート

本学園は、明治40年東京市小石川に東京工科大学を昭和42年には埼玉県宮代に日本工業大学を設置、和23年には新学制に基づき東京工業高等学校を設置認可され、同時に校舎を神田から、現在の駒場に移した。学園発祥の地である神田に専門職大学院、並びに専門学校を開設した。

永年勤続者
表彰 24名

続いて、永年勤続者の表彰が行われ、理事長より賞状と記念品が代表者に授与された。本年度の永年勤続者は、30年勤続者9名（鈴木康之、柳下崇兼子正生、有賀幸則、谷澤茂、長谷川嗣彦、飯倉道雄、渋谷龍美、宮崎好恵、20年勤続者2名（森山幹郎、杉村京子）、10年勤続者13名（渡辺康夫、白石一郎、星野坦之、榊澤康夫、小林哲二、松田實、田口幸恵、上野貴博、脇本隆之、松田洋、飯島貴子、川島信也、沖田次朗）の以上24名。

専門職大学院だより

好調な滑り出し

大学院技術経営研究科
研究科長 村川正夫

今年4月に37名の1期生を神田キャンパスに迎えてから早くも4ヶ月が経った。何から何まで、全く新しいところからのスタートで、当初心配された面も多少あったが、それらも何とかクリアされ、まずまずの滑り出しのようになっている。

用意した履修科目も、学生達はそれぞれの偏り無く履修申告をしてくれ、ちなみに、学生がどんな科目に関心を寄せているかを例示する意味で、現春学期における履修申告者数ベスト3の科目を紹介すると、「組織と人材育成」（31名）、「マーケティングと新事業創造」（29名）、「技術経営



屋上庭園を会場とした第1回コンパ

は、教員も加わり、非常に好評だった。今後第2回、第3回の開催が待ち望まれている。

今日からは夏学期に入る。猛暑の中はあるが、学生達には集中力を維持させ、頑張ってもらいたい。

3氏に名誉教授
称号記授与

建築学科教授、並びに昨年11月24日、病気のため死去された松木繁元共通系教授に名誉教授称号記が授与され、本学における三氏の多岐にわたる業績が紹介された。

本学の取り組み

文科省の「特色ある大学教育支援
プログラム」に採択

取組名「7つの工房によるカリキュラムの養成
体験的実工学教育」

全国の大学より410件の応募があり、文部科学省のヒアリングを経て、47件が正式に採択された。
*応募内容の詳細は、本学ウェブページで公開中の本紙134号2面に掲載。
なお8月20日発行の本紙4号で、詳細を特集する予定。

着々と進む学内環境整備

学内LAN等10月より運用

学園創立百周年を2年後に控え、学内の環境整備も着々と進んでいる。
今回は、10月の秋学期から使用可能となる学内LAN、屋外運動場トイレ、オートバイ置場の3件について紹介する。

学内LAN

平成17年度文科省補助事業（申請中）の一つとして、学内LANのリニューアル工事が進められている。今回の工事は、回線の通信速度アップと、これまで利用出来なかったエリアに対して情報コンセントや無線LANアクセスポイントの設置を行うことにより、キャンパス全域でのネットワークの利用を可能にし、学生、教職員へのサービス向上を目指すもの。本館（1号館）2号館、3号館）の各教室および4号館の401、402教室には新しく情報コンセントが設置され、同時に無線LANの利用も可能となる。また、学友会館、食堂、スチューデントセンター、クラブ棟周辺など、

情報コンセントに接続して有線で利用するには不向きなエリアについては、無線LANが設置される。今回設置されるラインは、サーバーから各建物への基幹部分は回線速度1Gbpsのもの、2号館、建物内の支線部分は100Mbpsの光配線により構成されている。外部接続先を2ヶ所とし全体として、インターネット回線速度は、現在の3倍以上に高速化される見込みである。また、今回のLAN配線工事は、近い将来導入されるであろうIP電話システムも念頭に、電話機とネットワーク網との相互利用が容易に出来るように考慮されている。9月中旬に工事を完了し、10月からの運用を目指す。総工

屋外運動場トイレ

学生は屋外のクラブ活動や体育の授業の際、また、野球のリーグ戦、弓道、アーチェリーの対外試合も盛り込まれている中、「会場の近くトイレが無く非常に不便をしている」といった学生達の声があった。これにこたえて、今回、野球場の西側に屋外トイレを設置することが決まり、工事を進めている。鉄筋コンクリート製で男子用、女子用それぞれのブースがあり、女子用には簡単な更衣スペースも設けられている。また、外部には飲用の冷水機も設置される。今までは食堂まで冷水をもらいに行っていたが、その手間がなくなり、



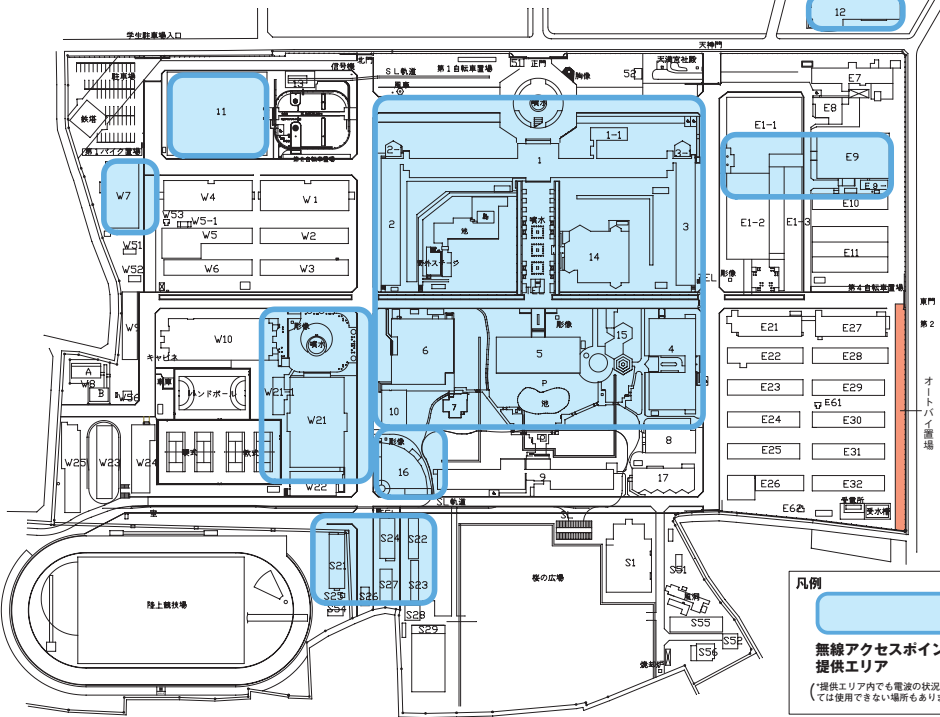
・屋外運動場トイレ模型

なえて非常警報設備も設置。警報は警備室につながる。共により対して警報サイレンが響くようになっていく。なお、夜間は施設される不審者等が侵入出来ないようにしている。工事は9月中旬に完了し、10月の秋学期から使用可能となる。総工費は約2千5百万円、全体の面積は約40㎡である。

オートバイ置場

（本年度後援会特別事業）平成17年度後援会特別事業として、東門脇のオートバイ置場の建設が決定した。これは、平成13年1月の雪害で屋根が崩れ、その後、屋根が崩壊した状態のまま放置されている。学生達からは「屋根を復旧して収容台数を増やして欲しい」と

学内無線LANエリア



過去最高の出展者・来場者 NEW環境展2005 本学の展示ブースは大盛況!!



上…本学展示ブース全景 右中…佐藤研究室「バイオマス利用による地域循環システム」の構築に向けて」 右下…丹澤研究室「ハイブリッド風力発電装置の鳥翼型風車」 左下…菅原研究室「太陽電池、燃料電池ハイブリッド自動車の開発」

5月24日から27日にかけて、NEW環境展が東京ビックサイトで開催され、4年連続で本学も出展した。今回の出展者数は549社（内26大学・産学連携）、来場者は15万人を超え、ともに過去最高となった。

本学の展示ブースでは、佐藤茂夫研究室、丹澤祥晃研究室、菅原和土研究室の研究成果を中心として、社会・地域との連携、学生環境推進委員会活動報告など、全学的な取り組みについても展示が行われた。他大学のブースよりも多くの人で賑わい、学生スタッフが熱心に対応していた。

世界のエネルギー消費はアジア、特に中国が増加しており、人口増加が著しいインドの消費量も増加が見込まれている。一次エネルギーベースでのエネルギー需要は石炭が最も多く、発電途上国での消費が増加している。先進諸国では、オイルショック後は石油の消費は

年と言われているが、埋蔵量の正確な把握は困難であり、有資源の有効利用を中東に依存しており、石油は88%をオーストラリア炭は75%をオーストラリアと中国から輸入している。LNGは消費量が年々増加しており、東南アジアから

削減である。CO₂は地球温暖化への温室効果ガスの寄与率が最も高い。日本はCOP3（気候変動枠組条約第3回締約国会議）京都議定書の目標を6%としているが、海外に依存している国とし

エネルギー事情と 環境問題について考える



講師 経済産業省
原子力安全・保安院
佐々木文昭氏
(機械工学科 第1期生)

民生と運輸で増加しており、59%を輸入している。国としてはエネルギー・セキュリティの観点から、エネルギーを多様な方法で確保することが大切である。今日、グローバルな環境問題として注目されているのが二酸化炭素(CO₂)の削減目標(削減率のカウントには、温室効果ガスの排出権を売買することができ、削減目標達成取組計画において排出量(権)取引などで削減目標のうち1・6%が見込まれている。さらにCO₂排出抑制4大対策として、省エネルギー・新エネルギー・燃料転換・原子力発電の推進があげられている。新エネルギーの主力として期待されているのは太陽光、風力、廃棄物などであり、太陽光発電の発電量のうち日本は45%を占め、発電量世界1位である。

このように今日のエネルギー事情は増え続ける消費量を、いかに抑制・削減し、有効な資源の利用と開発を進めるかが課題となっており、環境問題の観点からも課題解決は急務である。日本のように、エネルギーを海外に依存している国とし

では、積極的にこの問題に取り組みが必要であるとして、佐々木氏は講演を締めくくった。

最後に、同氏は学生に向けて就職活動における採用面接へのアドバースと、終了した。日工大生として胸を張って

学生主催によるISO講演会

『たばこのマナーについて』

学生環境推進委員会主催による第4回ISO講演会が6月4日(土)13時30分から3・325教室で行われた。講演題目は「たばこのマナーについて」。講師に、JT日本たばこ産業株式会社社会環境推進室部長平野芳典氏を招いた。

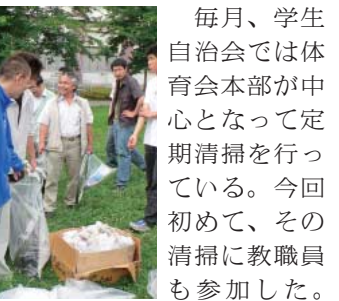
者の意識の違い」「JTの社会貢献活動」といったことが説明された。

講演の中で、新喫煙マナー広告について、身近な喫煙シーンで、身近な喫煙マナーをキャッチフレーズとして、平野氏は、喫煙者と非喫煙者が共存できる社会を実現したいということで、講演を締めくくった。

イラストが示された。喫煙者に「気づき」「考え」「行動」を促す表現になっていることを訴えた。

最後に、平野氏は、喫煙者と非喫煙者が共存できる社会を実現したいということで、講演を締めくくった。

学生と教職員による 学内清掃



毎月、学生自治会では体育会本部が中心となって定期清掃を行っている。今回初めて、その清掃に教職員も参加した。

6月21日(火)17時、30余名の教職員が集合。3班に分かれて、先にスタートしている学生たちに合流し、清掃に加わった。

近年、学内に限らずたばこの問題に対しては、社会的に関心が高まっている。こうした状況を踏まえ、講演は「分煙への取り組み」から始まり、「喫煙者と非喫煙

6月30日・7月1日の2日間、サーベイランス審査を受審し、本学のEMSの有効性、目的・目標の達成改善などについて、向上との評価を得た。

《審査所見の概要》
①環境分野研究奨励助成金による研究成果、環境関連科目による教育②見学

会・視察、講演活動、環境特別講演会の開催、環境展等、積極的なコミュニケーション③地域との連携、共同④エコ・ミュージアムの具体的展開の始動⑤学内環境整備⑥部門の特徴を生かしたパフォーマンスの向上⑦学生EMSとの連携、支援⑧「NITエコロジ

■ 学内見学一覧 (入試室)

オープンキャンパス以外にも、本学は随時見学を受け入れています。4月以降の学内見学は下表の通りです。

NO	月 日	対象	学校名	参加者
1	5月7日	3年生	栃木県立小山北桜高等学校	6名
2	5月21日	中学1年生、保護者	日本工業大学付属中学校	155名
3	5月27日	3年生	埼玉県立浦和工業高等学校	14名
4	5月27日	3年生	千葉県立千葉工業高等学校	15名
5	5月31日	2年生	川口市立総合高等学校	23名
6	6月10日	2・3年生、保護者	埼玉県立春日部工業高等学校	38名
7	6月17日	2年生	群馬県立太田工業高等学校	40名
8	6月25日	2年生、保護者	安田学園高等学校	20名
9	7月5日	保護者	埼玉県立三郷工業技術高等学校	25名
10	7月7日	2年生	群馬県立館林商工高等学校	40名
11	7月8日	2・3年生	埼玉県立三郷工業技術高等学校	80名
12	7月12日	2年生	群馬県立館林商工高等学校	40名
合 計				496名

今年初のオープンキャンパスは盛況

7月16日(土)、今年最初のオープンキャンパスが開催されました。多数の高校生や保護者の方々のご参加をいただき、数々の催しも好評でした。

次回は8月20日(土)開催。より多くの皆様のご参加をお待ちしております。

オープンキャンパス

8月20日(土)・10月22日(土)
いずれも11時から

施設・研究室見学、模擬授業、SLの運転など、
楽しい催しを沢山用意しています。

本学で先端技術研究の 取り組みを

社会人大学院生 募集！ (日本工業大学大学院 社会人特別選抜)

◆大学院工学研究科 博士前期課程・博士後期課程
*機械工学専攻 *電気工学専攻 *建築学専攻
*システム工学専攻 *情報工学専攻

■平成18年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

	日 程			
	受付期間	面接試験	合格発表	手続締切
一次募集	平成17年9月21日～29日	10月5日	10月14日	平成18年1月27日
二次募集	平成18年2月14日～21日	2月28日	3月4日	平成18年3月10日

— お問い合わせ先：教務部教務課 大学院入試係 —
TEL 0480-33-7507 URL http://www.nit.ac.jp

■日本工業大学 平成18年度入試日程

出願方式	日 程			
	出願期間	試験/面接	合格発表日	入学手続締切日
推薦入学 A方式	9/26(月)～ 9/30(金)	9/24(土)・9/27(火) ～10/1(土)のうち1日	10/15(土)	第1回目10/31(月) 第2回目1/16(月)
推薦入学 B方式(第1回)	8/29(月)～ 9/27(火)		10/15(土)	第1回目10/31(月) 第2回目1/16(月)
推薦入学 B方式(第2回)	11/21(月)～ 12/3(土)	12/10(土)	12/17(土)	第1回目12/26(月) 第2回目1/16(月)
AO入試 (第1期)	10/17(月)～ 11/4(金)	11/12(土)・11/13(日)のうち1日	11/21(月)	第1回目12/2(金) 第2回目1/16(月)
AO入試 (第2期)	11/25(金)～ 12/5(月)	12/10(土)・12/11(日)のうち1日	12/17(土)	第1回目12/26(月) 第2回目1/16(月)
AO入試 (第3期)	2/20(月)～ 2/25(土)	3/4(土)	3/10(金)	3/17(金)
一般入試	1/6(金)～ 2/4(土)	2/12(日)全学科 2/13(月)全学科 2/14(火)全学科 (受験日自由選択制)	2/21(火)	2/28(火)

本学発先端的研究

受賞おめでとう！

日本鉄鋼協会から横谷教授に山岡賞

革新的高効率混合・分離リアクターの開発



鉄の製造工程は、およそ次のようになる。まず高炉でコークスと石灰石を用いて還元反応で鉄鉱石から鉄鉄

の高い溶鋼とし、ノズルによって鋳型内に注入して、連続鋳造機で固め、板状、棒状に加工し、製品が出来上がる。

同教授は、13年前に位置エネルギーを利用し、下方に流下する溶鋼に旋回運動を与え、鋳型内の熱・物質輸送を制御する方法を考案した。開発は、住友金属工業(株)、黒崎播磨(株)との産学連携で進められ、「連続鋳造用旋回流ノズル」製鉄技術として2002年に実用化。この方法によると、特別な投資を必要とせず、例えば広幅スラブ鋳造では従来方法と比較し、不良率が約80%改善され、高級鋼が安定的に低コストで製造される(図参照)。

同教授は、製鉄ではトップレベルにあるスウェーデンとの共同研究でさらに新しい高級鋼の製造プロセスを開発中であり、今後が期待される。

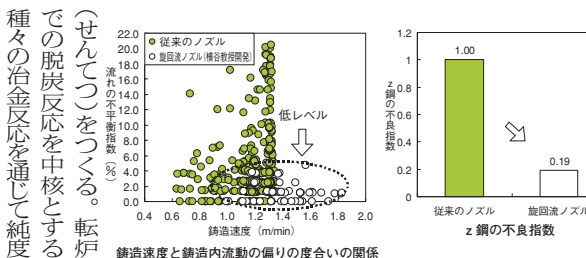
同教授は、製鉄ではトップレベルにあるスウェーデンとの共同研究でさらに新しい高級鋼の製造プロセスを開発中であり、今後が期待される。

同教授は、製鉄ではトップレベルにあるスウェーデンとの共同研究でさらに新しい高級鋼の製造プロセスを開発中であり、今後が期待される。

同教授は、製鉄ではトップレベルにあるスウェーデンとの共同研究でさらに新しい高級鋼の製造プロセスを開発中であり、今後が期待される。

同教授は、製鉄ではトップレベルにあるスウェーデンとの共同研究でさらに新しい高級鋼の製造プロセスを開発中であり、今後が期待される。

本学機械工学科横谷貞一郎教授は、このほど(社)日本鉄鋼協会から平成16年度共同研究賞(山岡賞)を受賞した。同教授は、長年製鋼プロセスにおける熱・物質移動現象を研究しているが、今回の受賞は、日本鉄鋼協会高温プロセス部会・革新的高効率混合・分離リアクター創出研究会で、4年間主査を務め、共同研究を推進してきた功績が評価されたもの。中でも、連続鋳造用旋回流ノズルの開発とその実用化に貢献した成果が評価された。



ノズルは連続鋳造の鍵。現在の製鉄プロセスは流動状態での冶金反応を特長とし、同教授は流体工学によるプロセス革新を目指してきた。そのうちのひとつが溶鋼を連続鋳造機に送り込むノズルである。従来は、溶鋼をノズルから鋳型に注入する際に、ノズル吐出流動変動、鋳型溶鋼表面の乱れ、渦の発生などにより、不純物巻き込みや不純物の凝固相への混入などが起こり、製品の質を悪化させていた。しかも、生産性を高めようと鋳造速度を上げる程、鋳型内流動の不安定性が加速。その対策として電磁流体力学を応用し、8tから10tの巨大な電磁石で鋳型内の流動制御を行っていたが、ノズル一本当りの鋳型内流動制御に10億円もの費用を必要としたのである。

同教授は、13年前に位置エネルギーを利用し、下方に流下する溶鋼に旋回運動を与え、鋳型内の熱・物質輸送を制御する方法を考案した。開発は、住友金属工業(株)、黒崎播磨(株)との産学連携で進められ、「連続鋳造用旋回流ノズル」製鉄技術として2002年に実用化。この方法によると、特別な投資を必要とせず、例えば広幅スラブ鋳造では従来方法と比較し、不良率が約80%改善され、高級鋼が安定的に低コストで製造される(図参照)。

同教授は、製鉄ではトップレベルにあるスウェーデンとの共同研究でさらに新しい高級鋼の製造プロセスを開発中であり、今後が期待される。

同教授は、製鉄ではトップレベルにあるスウェーデンとの共同研究でさらに新しい高級鋼の製造プロセスを開発中であり、今後が期待される。

同教授は、製鉄ではトップレベルにあるスウェーデンとの共同研究でさらに新しい高級鋼の製造プロセスを開発中であり、今後が期待される。

同教授は、製鉄ではトップレベルにあるスウェーデンとの共同研究でさらに新しい高級鋼の製造プロセスを開発中であり、今後が期待される。

同教授は、製鉄ではトップレベルにあるスウェーデンとの共同研究でさらに新しい高級鋼の製造プロセスを開発中であり、今後が期待される。

同教授は、製鉄ではトップレベルにあるスウェーデンとの共同研究でさらに新しい高級鋼の製造プロセスを開発中であり、今後が期待される。

泉俊之君が優秀な若手講演者として、日本機械学会フェロー賞を受賞



どが厳しく審査され、表彰対象者の20人に1人か、それ以下が選ばれる。

泉君の講演は、気液相変化というメカニズムを利用し、身体の中に医療用マイクロロ

ボットは、人間や生物が近づけない高温、高圧などの極限環境で稼働できることから、軍需、産業、宇宙開発等様々な分野で開発が進み、活用されてきた。しかし、この様に気液相変化で動かすロボットは、本学の加藤研究室のみが行っているユニークなもの。実際、本研究は電気工学、機械工学の境界領域に位置し、医療工学分野を扱うという点で、未開拓の分野である。本研究がさらに進み、今後実用化されれば、人体の中、例えば、大腸内に医療用マイクロロボットを送り込み、身体の内

部から腫瘍等を切除する手術が可能になる。そうすれば、現在行われている様な外科手術によるダメージは大幅に軽減されることになる。泉君の様な若い研究者により、さらなる進歩がもたらされることを期待したい。

泉君の講演は、気液相変化というメカニズムを利用し、身体の中に医療用マイクロロ

ボットは、人間や生物が近づけない高温、高圧などの極限環境で稼働できることから、軍需、産業、宇宙開発等様々な分野で開発が進み、活用されてきた。しかし、この様に気液相変化で動かすロボットは、本学の加藤研究室のみが行っているユニークなもの。実際、本研究は電気工学、機械工学の境界領域に位置し、医療工学分野を扱うという点で、未開拓の分野である。本研究がさらに進み、今後実用化されれば、人体の中、例えば、大腸内に医療用マイクロロボットを送り込み、身体の内

部から腫瘍等を切除する手術が可能になる。そうすれば、現在行われている様な外科手術によるダメージは大幅に軽減されることになる。泉君の様な若い研究者により、さらなる進歩がもたらされることを期待したい。

泉君の講演は、気液相変化というメカニズムを利用し、身体の中に医療用マイクロロ

ボットは、人間や生物が近づけない高温、高圧などの極限環境で稼働できることから、軍需、産業、宇宙開発等様々な分野で開発が進み、活用されてきた。しかし、この様に気液相変化で動かすロボットは、本学の加藤研究室のみが行っているユニークなもの。実際、本研究は電気工学、機械工学の境界領域に位置し、医療工学分野を扱うという点で、未開拓の分野である。本研究がさらに進み、今後実用化されれば、人体の中、例えば、大腸内に医療用マイクロロボットを送り込み、身体の内

高橋茂君が「電子ペーパー」の研究で学生優秀発表賞



学生13名を対象に実施した結果90分以内なら、どちらで読書した場合でも、読書前に比べて、読書中および読書後の視覚疲労に有意な変化は認められなかった。

このことから電子ペーパーは文庫本と同様に目に優しいディスプレイであるという結論に達した。

電子ペーパーには種々の方式が提案されているが、まだ実用化された例は少ない。論文「電子ペーパーで読書した場合の視覚疲労の測定」で、本研究では21インチ製の電子ブック・リーダーを実験に用いた。同リーダーは、A5版、厚さ2cm程度の大きさに、最大500冊の内容が入る。文字の大きさも5段階変えられる等、従来の書籍にはないメリットも多く、本格的な利用に向けて、更なる開発が期待される。

電子ペーパーには種々の方式が提案されているが、まだ実用化された例は少ない。論文「電子ペーパーで読書した場合の視覚疲労の測定」で、本研究では21インチ製の電子ブック・リーダーを実験に用いた。同リーダーは、A5版、厚さ2cm程度の大きさに、最大500冊の内容が入る。文字の大きさも5段階変えられる等、従来の書籍にはないメリットも多く、本格的な利用に向けて、更なる開発が期待される。

電子ペーパーには種々の方式が提案されているが、まだ実用化された例は少ない。論文「電子ペーパーで読書した場合の視覚疲労の測定」で、本研究では21インチ製の電子ブック・リーダーを実験に用いた。同リーダーは、A5版、厚さ2cm程度の大きさに、最大500冊の内容が入る。文字の大きさも5段階変えられる等、従来の書籍にはないメリットも多く、本格的な利用に向けて、更なる開発が期待される。

宮本祐也君 日本設計工学会で優秀発表賞受賞



機械設計は数学や力学、製図など多岐にまたがり、これを現場の経験則と共に学生一人ひとりに理解させるのは非常に困難とされてきた。これは他大学でも問題であり、同発表は多くの先生方から賞賛された。

宮本君は企業での設計経験もあり、これを活かして学生、教員、設計現場の3つの視点から今回の研究開発を行っている。また、発表会で優秀発表賞を受賞した。発表は「機械設計教材支援システムの開発」で、コンピュータを利用して機械設計の講義をシステム化したもの。同賞は企業や大学の研究者を対象としており、院生での受賞はまれ。独自のアイデアが詰まった秀逸な内容と独創的な発表が高く評価された。

宮本君は企業での設計経験もあり、これを活かして学生、教員、設計現場の3つの視点から今回の研究開発を行っている。また、発表会で優秀発表賞を受賞した。発表は「機械設計教材支援システムの開発」で、コンピュータを利用して機械設計の講義をシステム化したもの。同賞は企業や大学の研究者を対象としており、院生での受賞はまれ。独自のアイデアが詰まった秀逸な内容と独創的な発表が高く評価された。

須寄直史君 日本繊維機械学会で学術奨励賞受賞



繊維などに優れた精密フィルターを開発することにある。現在フィルター業界では環境問題などから、機器の高性能化が要求され、それに伴い今まで以上に高温、高圧力下での濾過が必要となるためフィルターには高温耐熱性と優れた機械的強度が要求されている。今回須寄君の扱った耐熱ステンレス鋼繊維焼結体は優れた高温耐熱性と機械的強度を有する機能材料として注目を集めている。須寄君は実際に同素材の焼結体を製造し、焼結体の目付量、繊維維算直径等による最大孔径と圧力損失等の測定を行い精密フィルター特性の検討を行っており、これが研究の目的は、金属繊維多孔質焼結体を用い、耐熱

映像情報メディア学会から磯野春雄教授にフェローの称号



メダルが贈呈された。同学会は、テレビジョン発明の父である故高柳健次郎博士が、テレビジョン関連の学理、技術の研究等を目的に1946年に設立したテレビジョン同好会に端を発している。その後、1950年にテレビジョン学会と改称、1955年に(社)テレビジョン学会へと改組し、1996年に(社)映像情報メディア学会と改称した。現在会員数は約6800名。磯野教授は、学生時代から同学会に加入、35年以上活動を続けている。今回のフェローの称号授与は、長年にわたる同学会への貢献が評価されたものである。

同教授の研究室では、特別なメカネ無しで立体映像を見ることが出来る新しい3D映像システム、高齢者や障害者に見やすく、聞きやすいテレビ映像や音声についての研究、人間の視覚特性の究明など、人間と情報メディアに関する基礎と応用の研究を行っている。最近では、電子ペーパーと呼ばれる技術分野が急速に活発化しているが、この分野でも人間工学的な見地から、一定時間連続して読書した場合の視覚疲労等について研究を進めており、今後が楽しみである。

同教授は、製鉄ではトップレベルにあるスウェーデンとの共同研究でさらに新しい高級鋼の製造プロセスを開発中であり、今後が期待される。

同教授は、製鉄ではトップレベルにあるスウェーデンとの共同研究でさらに新しい高級鋼の製造プロセスを開発中であり、今後が期待される。

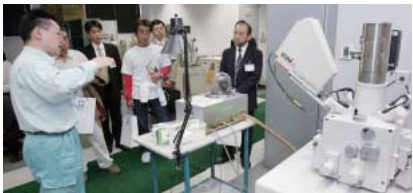
同教授は、製鉄ではトップレベルにあるスウェーデンとの共同研究でさらに新しい高級鋼の製造プロセスを開発中であり、今後が期待される。

古閑伸裕教授が「マグネシウム板のプレス加工」で天田財団から優秀賞を受賞



88件の研究テーマに、累積9億9千万円超の助成を行っている。古閑教授も同財団の助成を受け、数々の研究を行ってきたが、今回「マグネシウム板のプレス加工」の研究成果が、5月25日、27日に開催された日本塑性加工学会春季講演会と併設で開催された第3回天田財団助成研究成果発表会において講演発表され、4件の優秀賞のうち1件に選ばれた。マグネシウムは自動車やパソコンなどの各種機器の軽量化や電磁波シールド性向上のための構造材料として、現在最も注目されている材料である。この材料が多量に利用され、軽量化に貢献が認められ、今回の受賞に至ったものである。

古閑教授は前記助成を受けた、これまでマグネシウムやその合金のせん断特性、深絞り・張出し成形性、曲げ成形性、およびこれら加工における潤滑に対し、基礎的・実用的な研究を積み重ね、一連のプレス加工に関する実績をあげてきた。これらの成果はマグネシウム板のプレス加工技術の向上や普及に大きな貢献をもたらしており、これら一連の成果が認められ、今回の受賞に至ったものである。



学内見学で、最新設備の説明を受けるOB（昨年の様子）



パーティーを前に参加者全員で記念撮影（昨年の様子）

第6回ホームカミングデー（同窓会）が大学祭開催期間中の11月5日（土）に開催されます。卒業後10年・20年・30年の方にはご案内を発送いたします。当日は学内見学ツアー、パーティを企画しておりますので、皆様お誘いあわせの上で参加ください。

第6回ホームカミングデー（同窓会）開催のお知らせ

ホームカミングデー実行委員会

今後の主な学生行事

夏から秋にかけて行われる主な学生行事に是非、積極的に参加してほしい（学生課）

8月3日（水）～4日（木）
夏祭り大会

前期試験最終日から2日間行われる。体育館前に組み上げられた槽の周りで、盆踊りや浴衣コンテストなど様々なイベントが開催される。

8月7日（日）～9日（火）
体育会フレッシュマンキャンプ

9月11日（日）～13日（火）
文化団体連合会フレッシュマンキャンプ

体団と文団に所属している1年生を対象に普段のクラブ活動だけではなく、他のクラブとの交流を図るための企画。今年も、体団は「赤倉山荘」、文団は「国立磐梯青年の家」で行う予定。

11月4日（金）～6日（日）
第37回若杉祭

今年のテーマは“百花斉放～花から華へ咲き誇れ～”に決定。現在、大学祭実行委員会が例年よりさらに盛り上げようと企画中だ。中でも、“秋のからっ風こんさあと”や“美男子コンテスト”は必見だ。

今年度の主な学生行事に是非、積極的に参加してほしい（学生課）

8月3日（水）～4日（木）
夏祭り大会

前期試験最終日から2日間行われる。体育館前に組み上げられた槽の周りで、盆踊りや浴衣コンテストなど様々なイベントが開催される。

8月7日（日）～9日（火）
体育会フレッシュマンキャンプ

9月11日（日）～13日（火）
文化団体連合会フレッシュマンキャンプ

体団と文団に所属している1年生を対象に普段のクラブ活動だけではなく、他のクラブとの交流を図るための企画。今年も、体団は「赤倉山荘」、文団は「国立磐梯青年の家」で行う予定。

11月4日（金）～6日（日）
第37回若杉祭

今年のテーマは“百花斉放～花から華へ咲き誇れ～”に決定。現在、大学祭実行委員会が例年よりさらに盛り上げようと企画中だ。中でも、“秋のからっ風こんさあと”や“美男子コンテスト”は必見だ。

今年度の主な学生行事に是非、積極的に参加してほしい（学生課）

8月3日（水）～4日（木）
夏祭り大会

前期試験最終日から2日間行われる。体育館前に組み上げられた槽の周りで、盆踊りや浴衣コンテストなど様々なイベントが開催される。

8月7日（日）～9日（火）
体育会フレッシュマンキャンプ

9月11日（日）～13日（火）
文化団体連合会フレッシュマンキャンプ

体団と文団に所属している1年生を対象に普段のクラブ活動だけではなく、他のクラブとの交流を図るための企画。今年も、体団は「赤倉山荘」、文団は「国立磐梯青年の家」で行う予定。

11月4日（金）～6日（日）
第37回若杉祭

今年のテーマは“百花斉放～花から華へ咲き誇れ～”に決定。現在、大学祭実行委員会が例年よりさらに盛り上げようと企画中だ。中でも、“秋のからっ風こんさあと”や“美男子コンテスト”は必見だ。

今年度の主な学生行事に是非、積極的に参加してほしい（学生課）

8月3日（水）～4日（木）
夏祭り大会

前期試験最終日から2日間行われる。体育館前に組み上げられた槽の周りで、盆踊りや浴衣コンテストなど様々なイベントが開催される。

8月7日（日）～9日（火）
体育会フレッシュマンキャンプ

9月11日（日）～13日（火）
文化団体連合会フレッシュマンキャンプ

体団と文団に所属している1年生を対象に普段のクラブ活動だけではなく、他のクラブとの交流を図るための企画。今年も、体団は「赤倉山荘」、文団は「国立磐梯青年の家」で行う予定。

11月4日（金）～6日（日）
第37回若杉祭

今年のテーマは“百花斉放～花から華へ咲き誇れ～”に決定。現在、大学祭実行委員会が例年よりさらに盛り上げようと企画中だ。中でも、“秋のからっ風こんさあと”や“美男子コンテスト”は必見だ。

今年度の主な学生行事に是非、積極的に参加してほしい（学生課）

8月3日（水）～4日（木）
夏祭り大会

前期試験最終日から2日間行われる。体育館前に組み上げられた槽の周りで、盆踊りや浴衣コンテストなど様々なイベントが開催される。

8月7日（日）～9日（火）
体育会フレッシュマンキャンプ

9月11日（日）～13日（火）
文化団体連合会フレッシュマンキャンプ

体団と文団に所属している1年生を対象に普段のクラブ活動だけではなく、他のクラブとの交流を図るための企画。今年も、体団は「赤倉山荘」、文団は「国立磐梯青年の家」で行う予定。

11月4日（金）～6日（日）
第37回若杉祭

今年のテーマは“百花斉放～花から華へ咲き誇れ～”に決定。現在、大学祭実行委員会が例年よりさらに盛り上げようと企画中だ。中でも、“秋のからっ風こんさあと”や“美男子コンテスト”は必見だ。

今年度の主な学生行事に是非、積極的に参加してほしい（学生課）

8月3日（水）～4日（木）
夏祭り大会

前期試験最終日から2日間行われる。体育館前に組み上げられた槽の周りで、盆踊りや浴衣コンテストなど様々なイベントが開催される。

8月7日（日）～9日（火）
体育会フレッシュマンキャンプ

9月11日（日）～13日（火）
文化団体連合会フレッシュマンキャンプ

体団と文団に所属している1年生を対象に普段のクラブ活動だけではなく、他のクラブとの交流を図るための企画。今年も、体団は「赤倉山荘」、文団は「国立磐梯青年の家」で行う予定。

11月4日（金）～6日（日）
第37回若杉祭

今年のテーマは“百花斉放～花から華へ咲き誇れ～”に決定。現在、大学祭実行委員会が例年よりさらに盛り上げようと企画中だ。中でも、“秋のからっ風こんさあと”や“美男子コンテスト”は必見だ。

今年度の主な学生行事に是非、積極的に参加してほしい（学生課）

8月3日（水）～4日（木）
夏祭り大会

前期試験最終日から2日間行われる。体育館前に組み上げられた槽の周りで、盆踊りや浴衣コンテストなど様々なイベントが開催される。

8月7日（日）～9日（火）
体育会フレッシュマンキャンプ

9月11日（日）～13日（火）
文化団体連合会フレッシュマンキャンプ

体団と文団に所属している1年生を対象に普段のクラブ活動だけではなく、他のクラブとの交流を図るための企画。今年も、体団は「赤倉山荘」、文団は「国立磐梯青年の家」で行う予定。

11月4日（金）～6日（日）
第37回若杉祭

今年のテーマは“百花斉放～花から華へ咲き誇れ～”に決定。現在、大学祭実行委員会が例年よりさらに盛り上げようと企画中だ。中でも、“秋のからっ風こんさあと”や“美男子コンテスト”は必見だ。

「本学卒業の現職教員の集い」開催のご案内

教職教育センター長 原田 昭

現在、千余名の本学卒業生が、全国の小学校・中学校・高等学校などで教職に就いています。全国的に多様な教育改革が進む中、教員には新しい時代に対応した見識や行動力が求められています。

そこで、本学卒業の現職教員の皆さまの研修の一助にと、「日本工業大学卒業生の現職教員の集い」を企画しました。全国の同窓の教員が集まり、各地区・学校の教育課題について意見交換を図り、交流を深めたいと考えています。どうぞ奮ってご参加ください。

◆日時 平成17年9月17日（土）午後2時～5時
◆場所 ホテルフロラシオン青山 〒107-0006 東京都港区南青山4-17-58
「表参道」（東京メトロ半蔵門線、銀座線、千代田線）下車「A4」出口より徒歩5分
◆参加費 無料
◆プログラム
◎講演会「わが国のものづくり教育について」

講師（有）辻谷工業代表取締役社長 辻谷政久氏
◎氏は、国際規格の「砲丸」製作の第一人者。アトラクタ・シドニー・アネオリピックと3大会連続で金銀銅メダルを独占した。
◎手話コンサート「バリアフリーの教育をめざして」
―本学の手話サークルとともに― シャンソン歌手 朝倉まみ氏（歌をとおして手話を広める）
◎氏は、全国の小中高등학교や社会福祉施設等で手話に関するトークを交え、コンサートを開催中。

◎懇親会
◆主催 日本工業大学工業教育研究所・教職教育センター（電話 0480-0337737 FAX 0480-337744）
Email: koki@nipc.ac.jp
◆参加申込 住所、氏名、卒業年度・学科、勤務先学校をご記入の上、FAXまたはメールでお申し込みください。（先着150名）

◆星野坦之教授（システム工学科）／出張先Ⅱタイ（4/17～25）／目的Ⅱチュラロンコン大学との研究打合せ、講義他◆田中隆治助教（学修支援センタ

◆星野坦之教授（システム工学科）／出張先Ⅱタイ（4/17～25）／目的Ⅱチュラロンコン大学との研究打合せ、講義他◆田中隆治助教（学修支援センタ

◆星野坦之教授（システム工学科）／出張先Ⅱタイ（4/17～25）／目的Ⅱチュラロンコン大学との研究打合せ、講義他◆田中隆治助教（学修支援センタ

◆星野坦之教授（システム工学科）／出張先Ⅱタイ（4/17～25）／目的Ⅱチュラロンコン大学との研究打合せ、講義他◆田中隆治助教（学修支援センタ

1年生も大学生活にだいぶ慣れ、親しい友人もできつつあるようで、生き生きとした学生の姿をたくさん見かけるようになった。

学修支援センターに来る学生も4月のころの不安げに相談にくる姿は見かけなくなり、教科の内容についての相談が中心になってきた。しっかりと自分の学習計画を立て、決まった時間に学習指導を受けるといふスタイルも定着しつつある。

自分の夢や目標に向かって挑戦する学生もセンターを定期的に利用している。連休明けの1ヶ月で約7百人の来訪があった。

ところで、学修支援センターではチューターによる学習相談だけでなく、身に覚えのない請求がきて困っているとか、進路について悩んでいるとか学生生活に関するあらゆる相談を受け、教務課や学生課などとの連携を密にし問題の解決に当たっている。5月からは学生相談室に新たに2名の相談員が着任し、月曜から金曜まで毎日相談を受け付けている。

第9回スターリングテクノラリー

新部門も加わり11／19（土）開催

第9回スターリングテクノラリーが、平成17年11月19日（土）に、今年も本学で開催される。昨年は北は北海道から南は岡山まで、ほぼ全国から集まった約200チームがスピードを競った。今年は新たに、ミニカーの宙返り競争や、乾電池で冷凍するクーラー部門を新設して、新しい参加を待っている。本大学も今年はノーマルクラスや、人間乗車タイプに出場するための準備を進めている。まだ募集中なので多くの方の参加を期待している。

後援会だより
総会報告と地域別教育懇談会日程
去る5月22日（日）午後1時より、大学学友会館ホールにて平成17年度後援会定期総会が開催された。議事は、学長並びに後援会長の挨拶の後、中島副会長を議長に選出して進出した。

議案「平成16年度事業報告」、「平成16年度決算報告」、「同監査報告」、「平成17年度事業計画」、「平成17年度予算」、「理事・監事の銓衡」は、慎重審議の上、全て承認され、総会は無事終了した。

国際交流 華中科技大学・クウェートより
李凱さんと朱文傑さんが、6月13日、華中科技大学と本学との「学術交流についての取り決め」に基づき来学した。李さんはシステム工学科星野坦之教授、朱さんは情報工学科石川孝教授の指導下で一年間、研究生としての生活を送る。

6月17日には、クウェートから10名の学生と教授が来学。学修支援センター田中隆治助教による講義の後、本学学生と学内を見学、昼食を共にし、交流を深めた。

6月17日には、クウェートから10名の学生と教授が来学。学修支援センター田中隆治助教による講義の後、本学学生と学内を見学、昼食を共にし、交流を深めた。

※開催日及び会場は、都合により変更となる場合があります。詳しいご案内は各支部（支部のない地域は本部）より各会員宅に郵送されますので、そちらでご確認ください。

学修支援センター近況報告（6月）

相談員を増強し、さらに充実

1年生も大学生活にだいぶ慣れ、親しい友人もできつつあるようで、生き生きとした学生の姿をたくさん見かけるようになった。

学修支援センターに来る学生も4月のころの不安げに相談にくる姿は見かけなくなり、教科の内容についての相談が中心になってきた。しっかりと自分の学習計画を立て、決まった時間に学習指導を受けるといふスタイルも定着しつつある。

自分の夢や目標に向かって挑戦する学生もセンターを定期的に利用している。連休明けの1ヶ月で約7百人の来訪があった。

ところで、学修支援センターではチューターによる学習相談だけでなく、身に覚えのない請求がきて困っているとか、進路について悩んでいるとか学生生活に関するあらゆる相談を受け、教務課や学生課などとの連携を密にし問題の解決に当たっている。5月からは学生相談室に新たに2名の相談員が着任し、月曜から金曜まで毎日相談を受け付けている。

もう一つの学修支援センター（学修支援センター）

もう一つの学修支援センター（学修支援センター）

もう一つの学修支援センター（学修支援センター）

もう一つの学修支援センター（学修支援センター）

※開催日及び会場は、都合により変更となる場合があります。詳しいご案内は各支部（支部のない地域は本部）より各会員宅に郵送されますので、そちらでご確認ください。

編集後記

現在、学校法人日本工業大学編により、丸善から「感性と教養」が出版されています。平成15年2月出版した「感性と独創力」に続いて学園創立90周年記念事業として平成10年にスタートした「感性フォーラム」をまとめたものです。本フォーラムは、「ものづくり」独創力の原点に「感性」(KANS E)があるのではないかとという視点で著名な方々をパネリストに平成15年まで計6回開催しました。今回の「感性と教養」には、その他、座談会の収録があり、理事長・学長・木村工業教育研究所長(当時)に、元文部大臣の有馬朗人先生、ノーベル化学賞を受賞された野依良治先生をお招きして感性について語っていただいています。是非ご一読をお願い申し上げます。(F)